

麻生区区民会議 第5回専門部会『麻生区の魅力発掘・発信検討部会』議事要旨

- 1 開催日時：平成29年5月9日（火）午後3時～午後5時
 - 2 開催場所：麻生区役所 第4会議室
 - 3 出席者：[専門部会委員] 安藤和彦委員、石井よし子委員、鈴木昭弘委員、高倉秀敏委員（副部会長）、長岡さや委員、橋本周委員、林恵美委員（部会長、全体会副委員長）、松田基久乃委員
（欠席）菅野明委員、吉垣君子委員
[事務局] 企画課 安藤課長、福島係長、鈴木
[コンサルタント] 中島、永野
 - 4 傍聴者：0名
 - 5 議 題：
 1. 調査・審議課題の検討について
 - (1) これまでの審議内容の振り返り
 - ・『（仮称）麻生区の魅力発掘・発信検討部会』におけるこれまでの審議内容を振り返った。
 - ・対象とする子育て世代について、18歳（高校生）までの子育て世代と定義することとした。
 - (2) 今後の検討内容・検討方法を考える
 - 1) 今後の審議の手順
 - ・麻生区の魅力を、まず「知る（知ってもらう）」「関心を持つ（関心を持ってもらう）」という視点から検討していくこととした。
- 【主な意見】
- ・「調べる」以降の流れは既存の団体にある程度任せるという方向性で、そこにたどり着きやすくする仕組みを考えていくと良いと思う。
 - ・2015年度アンケート結果を見ると、麻生区の魅力の浸透が十分でないことが如実であり、浸透させるための仕組み作りが重要であると思う。
 - ・麻生区の抱える課題を意識しつつ魅力を発信する仕組みを考える必要があると思う。
- 2) 子育て世代にとっての麻生区の魅力について
 - ・農、自然、芸術文化など、身近で体験できる、麻生区の「付加価値」といえるものを、この部会で検討する魅力とする。今後、麻生区の魅力を洗い出し、委員間で共有して内容を決定していくこととした。

【主な意見】

- ・音楽であれ、芸術であれ、スポーツであれ、良いものを体験できるということが魅力であると思う。
- ・適度に都市的要素と田舎的要素が存在しており、子どもが色々なことを体験できるということが魅力であると思う。
- ・セールスポイントというよりも付加価値という概念の方が馴染むのではないか。
- ・芸術に関しては発信型のイベントは多いが、体験型のイベントは多いとは言えないのではないか。
- ・芸術については、生の演奏を聴くこと等も、広い意味では体験型と考えられるのではないか。
- ・幼稚園の体験活動が盛んであるなど、情操教育が行われていることも魅力である。
- ・農や自然に関しては、初等教育での農業体験や黒川での自然体験、アグリ・エコファーム等の体験型イベントがある。
- ・自然や農について具体的にどこをイメージしているのかの共有が必要ではないか。
- ・早野、岡上、黒川は農業振興地域であって、他区にはない魅力といえるのではないか。
- ・魅力としてあがっている現地を確認する必要があるのではないか。

3) 子育てフェスタの意見募集方法について

- ・あさお子育てフェスタについては、室外での出展と決定し、内容については次回以降に検討することとした。

4) 部会名について

- ・部会名について、仮称を外し、「麻生区の魅力発掘・発信検討部会」とすることとした。

2. その他

- ・第6期全体テーマ（案）「心がかよう魅力あるまち あさお」について、修正意見等なかった。
- ・次回までに、各委員は麻生区の魅力を固めるうえで、ここを見学した方が良いのではないかという場所について検討してくることとした。

以 上